

新規就農者がハウスアスパラガスを拡大中

【平成31年1月10日掲載】

冬木俊介（ふゆきしゅんすけ）さんは、「自分で作ったアスパラガスを使ったパンを作りたい。」という思いを持ち、世羅町で1ターン就農しました。

冬木さんは、平成28年から町の農業研修制度である“世羅町産業創造大学”を活用して（農）うづとでアスパラガス栽培について約2年間の研修を受けました。

その後、平成29年10月からハウスアスパラガス7aの栽培を開始し、平成30年8月には14.2aへ規模拡大しました。更に現在、雨よけ栽培用の簡易ハウス13aを増設しているところで、3年後には計27.2aのハウスで600万円の売り上げを目指しています。

今作の生育は順調でしたが、アザミウマ類が多く発生したため、当所の提案した粘着板の捕獲数を目安とした効率的な防除を行いました。その結果、アザミウマ類の発生を抑えることができ、初収穫となった7aのハウスで、目標の180kgを超える250kgを出荷することができました。また、12月の貯蔵根の糖度調査では世羅町内の平均糖度より3～10度高く、次作の春芽の収量も大いに期待しているところです。

当所では、次年度も新植株が健全に養成できるよう、灌水管理などについて支援していくことにしています。



【簡易ハウスを建てている冬木さん】



【アスパラガス栽培期間中の様子】